

# 大気改善研究の概要

— 成果まとめ —

2010. 6. 25

JATOP大気企画WG

柴田 芳昭



# 本日の内容

## 4. まとめ

- 研究成果まとめと公開
- 今後の予定

# 大気改善研究の中間成果まとめ

- 沿道NO<sub>2</sub>問題への対応
  - 当初の目標(沿道自排局NO<sub>2</sub>の将来推計)はほぼ達成
  - 本結果を**中央環境審議会自動車排出ガス専門委員会へ報告**
  - 沿道大気モデルによる解析結果を**川崎市の大気改善施策検討にデータを提供**
- PM<sub>2.5</sub>推計精度向上
  - 推計精度向上(含むEI精度向上)を図ったが、**現状は不十分**(推定値が観測値より過少、特に炭素成分)
  - 今後、新たなエミッションインベントリーで計算を行い、精度向上を目指す。同時に、観測値からの発生源寄与度解析も実施し、シミュレーションと双方で、**発生源寄与度を明確にする**

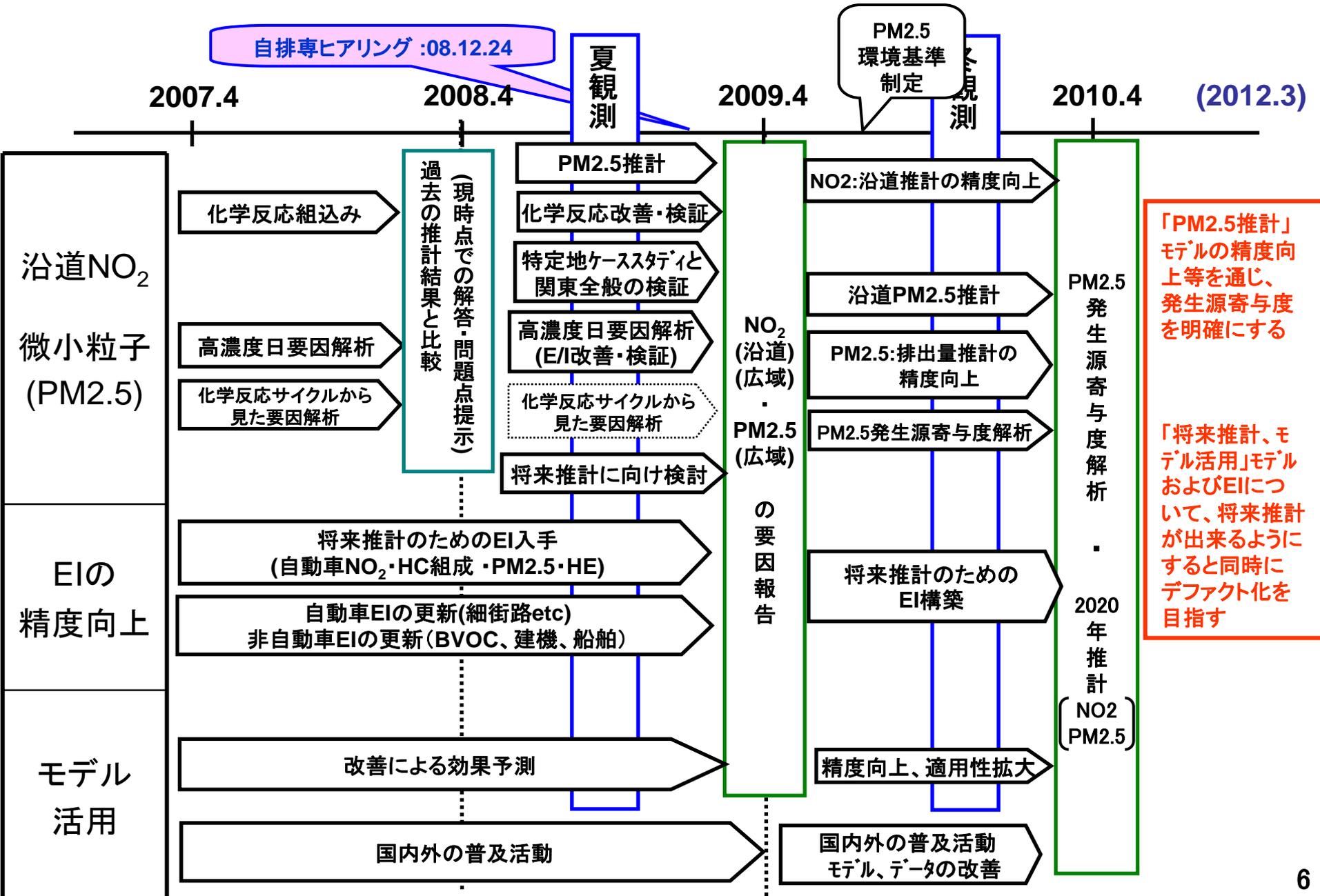
# 研究成果の公開

- 官庁検討会報告等：
  - 環境省自排専ヒアリング(2008.12.24)
  - 都PM2.5検討会
  - 神奈川県公害防止推進協議会研究所
  - 環境省VOC検討会(気象協会を通じて)
- 学会発表:26件
  - 大気環境学会、欧州エアロゾル学会、国際都市気候学会、他
- 論文発表:3件
  - Atmospheric Environment誌、他
- 公開:28件(データ提供のみを含む)
  - 愛媛大、大阪大、東大、東工大、気象協会、他

# 共同研究

共同研究先	研究内容
埼玉大学	JATOP冬季調査における粒子状/ガス状成分の測定に関する研究 沿道バックグラウンドの微小粒子生成挙動に関する研究
大阪府立大学	大気モデル検証のための微小粒子の成分解析に関する研究
首都大学東京	エアロゾルの生成ポテンシャルとOH反応性の研究
静岡県立大学	生物起源揮発性有機化合物(BVOC)エミッションインベントリー構築のための基礎放出量測定に関する研究
国立環境研究所	生物起源揮発性有機化合物(BVOC)の基礎放出量測定とBVOCエミッションインベントリーデータ作成に関する研究
(独)海上技術安全研究所	船舶・陸域からの大気汚染物質排出量によるPM2次粒子生成に関する研究
(財)電力中央研究所	原因物質排出量推計システムの共同開発
川崎市	池上自排局周辺の大気環境改善に係る共同研究

# 大気改善研究の今後の予定



ご静聴ありがとうございました